

# 【教育委員会議事録】平成28年11月定例会

開催日時	平成28年11月30日(水) 14:00~15:40
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 林 俊作(教育長職務代理者) 吉井 克也 藤井 悦子 松田 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p>           教育部長 石津 幸紀生            教育部次長 伊藤 信彦            教育部次長 森永 亮            教育政策課長 三好 洋一            学校教育課長 井上 成人            教育研修課長 岡田 達生            学校支援課長 宇都宮 義弘            学校保健給食課長 高原 祐二            教育指導監(生徒指導推進室長) 岡崎 茂邦            生涯学習課長 古西 修一            文化財保護課長 沖吉 洋一郎            図書館政策課長 高森 俊明            美術館副館長 中村 美幸            歴史博物館長 町田 一人            土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 吉留 徹            下関商業高等学校事務長 富田 智雄            菊川教育支所長 林 文男            豊田教育支所長 山尾 淳子            豊浦教育支所長 戸田 一仁            豊北教育支所長 西村 敬教            教育政策課主幹 光吉 計志            教育政策課主査 岡本 誠也            教育政策課主任 殖木 章充         </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】	
第 4 9 号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則	P 7
第 5 0 号 平成 2 8 年度教育予算の補正（1 2 月）について	P 8
第 5 1 号 下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）委員の 委嘱について	P 9
【報告事項】	
平成 2 9 年度教育予算について	P 18
下関市離島通学援助費交付要綱の一部改正について	P 10
事故処理完了報告について（枝木の落下に伴う車両損傷事故）	P 10
野菜価格高騰による平成 2 8 年度学校給食への対応について	P 11
平成 2 8 年度に指定管理者を再指定する施設について	P 12
重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について	P 13
第 1 回土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会について	P 13
平成 2 7 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について	P 14
【その他】	P 17
【閉会の宣告】	P 22

**【開会の宣告】**

波佐間清(教育長)

皆さんこんにちは。それでは、教育委員会11月の定例会を開催をいたしたいと思います。

**【署名委員の指名】**

波佐間清(教育長)

本日の議事録の署名は、「藤井委員」「松田委員」をお願いいたします。

日程につきましては、日程1の議案が3件、日程2の報告事項が追加1件を合わせて8件、その他となっております。

この日程に関して、最初に委員の皆さんにお諮りをしたいと思います。報告事項「平成29年度教育予算について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定によりまして、会議を公開しないことといたしたいと存じますが委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、これにつきましては非公開とし、議事録についても非公開としたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、また、非公開とすることといたしました報告事項は、日程3その他が終わった後に審議を行うことといたしたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、そのように進めてまいります。傍聴者の方はいないということでよろしいですね。

**【教育長報告】**

波佐間清(教育長)

それでは、議案第49号の審議に入る前に教育長報告をしたいと思います。

皆さんのお手元の2ページのところに、教育長報告として書いてありますが、まず最初に、教育委員による先進地視察。10月26日から28日まで、長野市の教育委員会、特に長野市の教育センターの視察、そして、学力向上の「しなのきプラン29」等々視察をいたしました。また、次に上田市の教育委員会に行きまして、小中乗入授業、それから上田市の教育行政、幼保小中の連携の取組ということで、視察をしまいったところでもあります。これにつきましては、私の「未来への風」の中にも先日書いて皆さんにも配信をしたところでもあります。長野市には我々と同じような教育センターがあります。同じ中核市で、もう30年前から研修を充実させようとして、古くはなっていますがこういう研修センターをつくっていることに、さすがに「信濃教育」のメッカであるなということ強く感じたところでもあります。また、上田市につきましては小中乗入授業、中学校の先生が小学校の子供達へ授業をするということで、専門家が授業をやっていくというところで、その公開の授業を見せていただきました。大変活発に子供達も発表していましたが、良い意味の問題点も提起をしていただいたかなというふうにも思っております。下関も小中乗入授業をやったりしていますが、特に技能教科、音楽、体育、美術、英語とか、それから特に理科、そのあたりはかなり有効かなという印象を私自身は持っております。また、委員の皆様

には、後ほど感想がありましたら視察の印象等も含めてお話をさせていただければと思っております。

10月、11月については、公民館の文化祭行事がたくさんありました。生涯学習課の課長さんをはじめ、部長、部次長さんにも色々行っていただき、地域の文化力というか勢いを、色んなその土地その土地の地域の皆さんの意気込みを感じたところであります。

10月30日につきましては、美術館で下関市の芸術文化祭開幕式ということで表彰を行ったところでありまして、美術館も多くの方々に来ていただき賞状等の授与も行ったところでありまして。当日はピアノの生演奏もあって、つい先日、その方ともコンサートでお会いをいたしました。

次に開成高等学校、下関の友好高校であります、市長に表敬訪問をされ、下関との交流をされたところでありまして。11月3日は宇部市の市制95周年ということで、市長代理で宇部市の渡辺翁記念館で開催されたのに出席をさせていただきました。

また、11月5日については、海響マラソンのおもてなし前夜祭。11月6日がメインで海峡ゆめ広場からのスタートで、教育委員会の皆様のボランティアも含め、応援も多くの方にしていただきました。昨日、その反省の会議があったようであります。年々盛り上がっていますが、市長さんも走られましたが、残念ながら今年も途中でということで新聞にも出ておりましたが、頑張っておられたということでもあります。楽しいゲストランナーが宮本選手をはじめ、特に猫ひろしが盛り上げてくれました。彼らが出て「皆さーん」とかですね、千葉さんもととても大きな声で皆に呼びかけましたが、一番は波田陽区が水谷選手の卓球の選手のものまねをしながら登場して、皆さんを大変盛り上げてラケットを持って走ったということで、自分の仕事も大変増えて良かったというようなことも言っておりました。

次が11月7日ですが、NHK全国学校音楽コンクールで銅賞を取りました勝山小学校の市役所においてのロビーコンサートがありまして、お昼に子供達も給食を食べて急いで来て、ロビーで美しい歌声を披露してくれました。多くの方々称賛の拍手をしていたところでもあります。

それから11月7日午後ですが、青少年健全育成の大会がございました。

次のページ、この頃は大変多くの行事がありまして、へき地・複式教育研究協議会が11月9日、角島小学校でありました。今、へき地・複式の学校も増えてまいりましたので、多くの参加者がありました。

また、下関みらい塾が11月10日、私は東部中学校に行き、中村文昭氏の講演をお聞きしました。中学校4校を回られたところでもあります。

また、中学生の少年サミット。教育委員の皆様にもご参加をいただいて、生徒達のすばらしい少年サミットを見せていただき、素晴らしい提言もされたということでもあります。この頃、「私の意見発表会」ということで、中学生が川中公民館の講堂において意見を発表をしましたが、これも中学生が大変良く頑張っていました。11月15日は、この教育センターにおいて教育功労者表彰式がございました。

また、次の「時代を拓く」竣工式典、この「時代を拓く」は古川先生がこの書を書いておられます。この除幕式がありました。私も参加をさせていただきました。三吉慎蔵さんの子孫の方が来られておられましたが、ちょうど私の目の前に三吉慎蔵さんの銅像があったわけですが、その横と一緒に写真をとっておられましたが、横顔を見たときに「そっくりだな」と、本当に子孫の方はよく似ておられたので、「とてもよく似ておられます」と言う苦笑いをされておられました。

その次に、11月18日は歴史博物館の開館式ということで、歴史博物館の町田館長をはじめ文化財保護課の協力も得て、盛大な会館式になりました。その翌日等も、夜から「彩りの城下町・長府」ということで様々なイベントもあったようで、大変盛り上がったようでもあります。未だに多くの観光客の方が入っておられます。ちょうど紅葉シーズンと兼ねてとても盛り上がっているようでもあります。また、「オレンジリボンたすきリレー」ということですが、これは児童虐待防止ということで、カモンワープの特設会場で生徒指導推進室のメンバーの者達もこれに参加をして、走って協力をしていただきました。

それから、山口県の韓国語弁論大会。11月20日シーモールホールでありましたが、大変盛り上がり、普通の弁論大会以上に声援が大きくて、聞いているというよりも声援の嵐でありまして、また皆さん方もこの韓国語の弁論大会も見に行かれてみるのも楽しいかもしれません。それ

から、芸術文化祭。「やまぐち県詩祭」という、これは三好課長さんも関わっておられまして、これに参加をさせていただきました。詩を愛する皆さんが、県の大会ということで下関で大会をされました。最後に、市の表彰式が25日に市役所新館でございました。

これにはちょっと書いておりませんが、先程の韓国語の方の関係で、市内で韓国語を教えている高等学校、その校長先生と担当者の方を含めて研究会という勉強会をいたしました。夜、懇親会もいたしましたが、今、市内5校の高等学校で韓国語を勉強しています。広島にある韓国総領事もこの会議に出席をいただいて、初めての会議をやりましたが、これらをこれからも大切に、韓国語について下関の者は、特に勉強するといいいかなということを感じたところでもあります。

以上、私の方の報告は終わりますが、特に先進地視察等も含めて、教育委員さんの方で何か感想なりご意見がありましたら。藤井さんどうですか。

藤井悦子(教育委員)

長野市の教育センターを視察しました。教育センターは古い建物でしたが、全ての階の壁に高校生が描いたパステル画が飾ってあり、見事な絵画で驚きました。また、長野市では「キャリア教育」に力を入れていて、子供達が自立した18歳になれるように、地元の企業の方や専門家・技術者の方が学校を訪れて、様々な分野のことを子供達に教えているそうで、とても素晴らしい教育環境だなと思いました。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。どうですか。吉井委員さん。

吉井克也(教育委員)

本当に素晴らしい3日間でございました。色々長野の方、今お話がありました「キャリア教育」について勉強しようということで行きましたし、上田市の方は、幼小中高も含めた連携教育について勉強しようという思いで行きました。本当にそういった課題に両市とも誠実に取り組んでいらっしゃるって、その取り組みの真摯な姿勢を凄く感じました。その成果そのものは、どうであるかということにはちょっと見ただけでありますから、何とも言い難いところもあるんですが、下関が今取り組んでいるのと同じように一生懸命取り組んでいらっしゃるということを感じて、そのことに非常に感銘を受けました。

もう1つ大変嬉しかったのは、これは教育長さんのお力でもあるんですけども、両市に行って、その教育委員会の皆様方の私達に対するおもてなしと言いますか、本当に有り難いというより他に言葉が無いような細かなお心遣いまでいただきまして、感謝感激でございました。また、この両市の方が下関においでになる時には、私達も本当に全力でおもてなしをしなければいけないと、これも良い学びであったなと思っております。以上です。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。松田委員さん。

松田まさ子(教育委員)

初めての視察だったのですが、とても勉強させていただきました。先程吉井委員さんも言われていたけれども、上田市ではホテルの送迎から車を手配していただいて、また上田市の教育委員さん達とも懇親会という形を設けていただいて、初めて別の地域の教育委員さんとも交流できたことも、とても勉強になりましたし、良くしていただいて感謝しております。「下関にもまた是非いらして下さい」と言って別れたんですけども、またこちらでもそういう対応が出来たらいいなと思いました。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。先程歴史博物館のことをお話しましたが、三吉慎蔵の子孫の方が来られました。そのときに、私達が上田市を訪れたお話をしたところ、非常に「向こうでお

会いしたかった。なんで私を呼んでくれなかったか。」と言って、つつい責められましたが、私も本当は心の中で三吉慎蔵の子孫の方に「向こうでお会いしたかったなあ」と思っていたのですが、上田市にお任せをしたところがあるので、こちらから強く要望することがちょっと憚られたんでお呼びすることができなかつたんですが、下関市と上田市との三吉慎蔵さんのお子さん、米熊という方が向こうで養蚕の普及をされたと。地元の上田市の方々は、銅像も建てて、そして上田城の麓の公園の中に銅像があります。それだけ尊敬をされているということを改めて感じたところでもあります。まだまだお話ししたいことはたくさんありますが、この場ではこのぐらいにしておきたいと思います。

次に、林委員さんの方から先日、高知の方に教育委員さんの視察に行っていました。その辺の報告をよろしくお願ひします。

林俊作(教育長職務代理者)

11月17日と18日、1泊2日で西日本の教育委員が集まる研修会ということで、毎年下関からは1人行っていますが、今年は私が参加をさせていただきました。

研修会では、文部省から色々な政策の説明がありました。言葉は理解できますけれども、内容はなかなか難しいものでした。翌日は講演会があり、その内容は所得と子供の学力の問題というものでした。親の所得と子供の学力が比例をしますというお話でありました。学力の高い子供の家は所得が割と高い、そして生活保護あたりになってくると学力も低いというような、こういう問題をこれから解決していかなければならないというようなお話でした。時勢を交えながら説明を聞いたというところでございます。

研修会に参加して感じたことは、今回の研修会には県内の多くの市町が参加していませんでした。岩国は全員参加でしたが、それ以外の大きい市町はほとんど参加していませんでした。岩国では下関のような先進地視察は行っておらず、今回の研修会に参加しているということでした。岩国が先進地視察に行くようになって、この研修会に参加しなくなると、大きな市町で参加するところがなくなる感じがします。参加させていただいて大変勉強にはなるとは思いますけれども、予算が厳しいと言うことであればその辺は考えてもいいのかなという気がいたしました。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございます。教育委員さんの視察、そして今回の研修会ということの報告がございました。

先程の三吉さんとお話をした時の中で、良いお話をお聞きしたのでお知らせをしようと思います。三吉さんがこの前の「時代を拓く」の時から歴史博物館まで、ちょっと2・3日こちらに滞在をされておりました。それでカモンワープの散策をされていたという時に、ちょうど名稜中学校の生徒達がカモンワープで3人1組くらいで観光ガイドをしていたと。そういう中で、下関の名所・旧跡も含め、観光のPRをしていたと、そういう活動をされていたようです。その時に三吉さんに観光ガイドをされていた人達に、三吉さんが聞かれたそうです。「三吉慎蔵って知っていますか」と。そうすると、その中の女の子の1人が「私は三吉慎蔵をよく知っています」と言って答えてくれた。それがとても嬉しかったというお話でありました。

昨日、毛利秀元公の銅像を建てた建立の発起人会が、これで閉鎖をするということでの会議がありました。その時に、今のお話もしました。これから下関の基である長府藩、その基礎を築いた毛利秀元公について、我々はずっともっともっとしっかり知っていかなければなりません。田中洋一学芸員があの本を書いております。皆さん方もしっかり読んでいただいて、下関の住人である我々は毛利秀元公という偉大な人物、下関市の基礎を築いた方を、しっかり知り、そして検証していくことが大切に思います。勝原さんと内藤さんは、山口県下の全部の教育委員会にあの本を持って回られて寄贈されてきました。そして広島県、岡山県にも行かれてですね、毛利ゆかりの地の教育委員会にもそれをお渡しされています。その情熱というか、それに私は本当に凄いなということ改めて強く感じ、3千何百万円かの寄附があつて、銅像が約2千万円、あと残りをこの本の製作にあてて寄贈をしていったということで、あと360万ぐらいが残金として残っておりますが、市の方にそっくり寄贈されて、毛利秀元公の何かの関わりがあるものに使って欲しいとい

うことで、昨日それを市長の方に、正式にはまた12月に寄贈式があるようでございますが、そういうお話でありました。そのようなことも皆さん方に知っておいていただきたいなと思ってお話をさせていただきました。以上であります。

**【議案審議】**

**第49号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則**

波佐間清(教育長)

それでは、議題の方に入りたいと思います。日程1議案審議に入ります。「議案第49号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則」、教育政策課、お願いをいたします。

三好洋一(教育政策課長)

教育政策課です。よろしくお願ひいたします。それでは、「議案第49号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則」についてご説明をいたします。資料の4ページと5ページをお願ひいたします。

それでは説明に入らせていただきます。後ほど報告事項におきまして、平成28年度に指定管理者を再指定する施設として、「重要文化財旧英国領事館」の報告がございますが、下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の規定により、指定管理者の選定については、特別の場合を除き、下関市指定管理候補者選定委員会を設置し、審議するという事となっております。当該選定委員会は教育委員会の諮問に応じて審議する機関であることから、附属機関として位置付けられることとなります。従いまして、この議案につきましては、このように指定管理者の選定のために、教育委員会の附属機関として、下関市指定管理候補者選定委員会を設置することに伴い、下関市教育委員会事務分掌規則の第38条を改正しようとするものでございます。

なお、指定管理につきましては、一般的に5年の指定期間となっており、指定管理者の選定が終了すれば、当分の間は当該委員会が開催されるということはありません。よって、他の附属機関のように年に数回開催し、意見をいただくというものとは異なるということから、第38条第1項におきまして、第1号、第2号とそれぞれ法律によるもの、あるいは条例によるものとあるわけですが、それらとは切り離しまして、第3号として規定をいたしております。

では、4ページの新旧対照表をご覧ください。第38条第1項第3号におきまして、「下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）」の、担任する事務及び庶務を処理する組織を規定いたしております。なお、新旧対照表の左側の旧のところがございます、「下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習関係施設）」につきましては、選定が終了いたしましたために、削除するものでございます。

施行日は、平成28年12月1日からといたしております。以上、説明は簡単でございますけどよろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、特にならなければ議案第49号につきましては承認としてよろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは異議なしということで承認といたします。

**【議案審議】**

**第50号 平成28年度教育予算の補正(12月)について**

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第50号 平成28年度教育予算の補正(12月)について」お願いをいたします。はい、石津部長。

石津幸紀生(教育部長)

それでは「議案第50号 平成28年度教育予算の補正(12月)について」ご説明を申し上げます。

資料の7ページを見ていただければと思います。「歳出」という漢字が左上にありますけれども、こちらの表をご覧くださいと思います。歳出の第10款 教育費は1,136万9,000円を減額補正しようとするものでございますけれども、このうち教育委員会所管分は、観光交流部所管分の1,501万2,000円の減額を除く364万3,000円の増額となっております。今回の補正は、今年度の人事院勧告に伴う給与改定によるものと、人事異動に伴う人件費の整理による補正という事になります。

まず最初に今年度の人事院勧告ですけれども、今年の8月に勧告が出ております。ご存知とは思いますが、この人事院勧告は国家公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させること、つまり民間準拠を基本に人事院勧告というのは行われております。今年度の人事院勧告の主な内容は2つありまして、1つが給料月額引き上げ。これは今年の4月分の月例給与、民間給与が国家公務員の給与を平均708円、0.17%上回る結果になっていること。こういったことから給与月額を引き上げるという勧告でありました。初任給及び若年層、おおむね30歳までなんですけれども、こういった方々については1,500円程度を引き上げる。その他の方については、400円程度引き上げということで、平均改定率が0.2%。給与改定につきましては、今年の4月1日に遡って実施をするということになります。

それから2点目は、勤勉手当の支給率引き上げ。これは一般的にはボーナスと言われておりますけれども、民間が公務員を上回ったことから、年間4.3カ月分に引き上げるという勧告です。現在、年間4.2カ月ですので0.1か月分の引き上げ、これは12月の勤勉手当を0.8月から0.9月に引き上げるというようなのが、今年度の人事院勧告の主な内容という事になります。これに伴う歳出予算の増ということが必要です。

それから、人事異動に伴う人件費の整理は参考にご説明いたしますと、一般的に当初予算の人件費の積算というのは、毎年1月1日現在の、例えば教育委員会であれば、教育委員会に1月1日現在に所属する職員が4月1日以降も教育委員会に全員残るという前提で積算をしています。当然4月1日に人事異動でも人も変わりますので、この12月に人事異動に伴う人件費の補正をする、これは一般的な積算の考え方、そして、12月で補正をするという考え方です。当然、今回も定期異動で人が変わっておりますので、この12月の議会において人件費の整理をした。その結果、教育委員会では冒頭申し上げましたように教育費全体では364万3,000円の増額の補正をするというような内容になります。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、補正予算につきまして説明がございました。何かご意見ありますか。

(特にありません)

波佐間清(教育長)

それではこの件につきましては、承認としてよろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします。

**【議案審議】**

第51号 下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第51号 下関市指定管理候補者選定委員会(重要文化財旧下関英国領事館)委員の委嘱について」お願いをいたします。はい、文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。よろしくお願いたします。それでは資料の9ページをお願いいたします。「議案第51号 下関市指定管理候補者選定委員会(重要文化財旧下関英国領事館)委員の委嘱について」ご報告いたします。

重要文化財旧下関英国領事館に係る現在の指定管理者は、ブランドゥでございますが、現指定管理者の指定期間は、平成26年7月18日から平成29年3月31日までとなっております。このため、平成29年度以降の指定管理者を再指定する必要があると見られて、指定の形態や選定方法は、前回と同様に公募により募集し、指定管理候補者選定委員会による選定を行う予定としております。つきましては、先程「議案第49号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則」において、重要文化財旧下関英国領事館に係る下関市指定管理候補者選定委員会設置に伴う同規則の一部改正についてご審議いただきましたが、本議案は当該選定委員会に係る委員の委嘱についてお諮りするものです。

委員の候補者は、学識経験者として梅光学院大学客員教授 渡辺一雄氏、市民活動団体・まちづくり代表として木暮実千代の会事務局長 岡崎新太郎氏、経営関係として税理士事務所長の石光孝英氏、地元関係者として協同組合唐戸商店会理事長の吉田悟氏、唐戸町自治会長の野村泰三氏の5人を予定しておりまして、いずれの方からも内諾をいただいております。

なお、委員の任期につきましては、平成28年12月1日から平成29年11月30日までとしております。以上、よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、説明がございました。ご意見、ご質問ありましたらお願いをいたします。

(ありません)

波佐間清(教育長)

それでは、特にならなければ「議案第51号 下関市指定管理候補者選定委員会の委員の委嘱について」、承認としてよろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは承認といたします。

**【報告事項】**

下関市離島通学援助費交付要綱の一部改正について

波佐間清(教育長)

次に日程2の報告事項に入りたいと思います。まず最初に、教育予算につきましては、先程申しましたように最後に回させていただきます。最初に「下関市離島通学援助費交付要綱の一部の改正について」お願いをいたします。はい、学校教育課。

井上成人(学校教育課長)

はい。それでは11ページをご覧ください。「下関市離島通学援助費交付要綱の一部改正について」ご報告いたします。

ご存じのように、蓋井島には小学校はありますが、中学校・高等学校はございません。そこで本市では、蓋井島に住む中学校へ離島学校生徒の修学のために下関市学校寄宿舎「青雲寮」を昭和44年に設置し、寄宿させておりましたが、その後寄宿対象者がいなくなったため、平成23年度末から休止しているところでございます。平成26年度に、児童1人が中学校進学予定でありましたが、施設の老朽化等により、「青雲寮」を再開することが出来なかったため、緊急避難的な措置として、下関市離島通学援助制度を設け、「青雲寮」の代替寄宿舎として、民間賃貸住宅等を賃貸借する際の費用の一部を補助してまいりました。この生徒は平成29年度には高等学校に進学することを予定しております。通学援助制度の対象は緊急避難的な措置ということもあり、中学生に限定しておりましたが、高校生も寄宿することが出来た「青雲寮」の代替寄宿舎である事を鑑み、この度、通学援助制度対象に高等学校生徒を加えるよう改正いたしました。以上、ご報告をいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がありましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。

(ありません)

波佐間清(教育長)

はい。特にないようですので報告済みとしたいと思います。よろしくお願いたします。

**【報告事項】**

事故処理完了報告について（枝木の落下に伴う車両損傷事故）

波佐間清(教育長)

続きまして、「事故処理完了報告について」、生涯学習課、お願いをいたします。

古西修一(生涯学習課長)

生涯学習課です。よろしくお願いたします。資料の12ページになります。報告事項、枝木の落下に伴う車両損傷事故の事故処理の完了についてご説明をいたします。事故発生日時は、28年4月17日日曜日 午後0時30分ごろ。事故発生場所は清末公民館で、事故被害者は菊川町にお住まいの●●●●氏です。事故内容は、9月の定例会でご報告したとおり、子供のピアノ発表会のリハーサル会場として清末公民館を利用した後、帰宅するために被害者の自動車を妻が運転し公民館の敷地内を走行していたところ、植え込みにありました樹木の枝が風により折れ、たまたま通りかかった被害者の車両の上に落下し、当該車両が損傷したということです。損害賠償額は8万5,834円、専決処分日は9月16日、示談日は10月14日、損害賠償金の支払日は11月21日となりました。今後、同様の事故が発生しないよう管理を徹底してまいりたいと思っています。以上、ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、事故処理の完了報告ということで報告がございました。なにか、ご質問がありますか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

特にないようでしたら、報告済みといたします。

**【報告事項】**

野菜価格高騰による平成28年度学校給食への対応について

波佐間清(教育長)

続きまして、「野菜価格高騰による平成28年度学校給食への対応について」、学校保健給食課  
お願いします。

高原祐二(学校保健給食課長)

学校保健給食課でございます。よろしくお願ひいたします。資料13ページでございます。「野菜価格高騰による平成28年度学校給食への対応について」ご報告申し上げます。皆様ご承知のとおり、今年度は大変天候が不順でございまして、また色々地震等がございました。今年4月に発生した熊本地震、あるいは夏の台風上陸等、野菜の産地が甚大な被害を受け、市場に出回る野菜価格が秋から非常に高騰が続いているところでございます。このため、学校給食の提供に関して、給食費で賄う食材費が圧迫されて、調理現場等で献立の見直し等の対応を行っているところでございます。例として野菜価格の変動として、にんじん・ネギ・きゅうりの例を7月と10月で対比しておりますけれども、約2倍の高騰をしておるところでございます。その対応例として、安価な食材への変更、あるいは一部食材の使用中止、食材の使用量を若干減らす、あるいは献立の見直し等をやっております。例えば小松菜を使うところを冷凍ほうれん草でありますとか、生肉を使うところを冷凍肉に変えるという工夫です。それから、薬味のネギを高いから今回はちょっと我慢しようかとか、そういったこともやっておりました。

今年度の対応でございますけれども、現在、調理に必要なガス代について、一部公費負担を行っております。下の図式を見ていただくとわかるのですが、例えば小学校では1食当たり260円を頂いておりますが、その内訳は食材費として240円、残りの20円のうち18円をガス代、2円を消耗品代として頂いております。ところが、これは単独調理校の話なんですけれども、学校の色々な施設の規模等によりましてガス代がこれをオーバーするところがありますので、そういうことを補填するためにガス代の予算を持っておるところでございます。今年度につきましては、ガス代が非常に安い価格で推移しておりまして、燃料費の支出が抑えられて予算残が見込まれるところでございますので、このガス代を一部、1食当たり2円ほど補填するというところで、その2円分を食材費の方にまわしていただくという対応で野菜価格の高騰に対応するというところでございます。この2円だけで対応出来るというものではございません。やはり、献立の1食当たりの単価を安い食材で見直すということもやっております。それで、今年度につきましては野菜価格の高騰には対処できるかなと考えております。以上で報告を終わります。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がございましたが、何かご質問がありましたらお願ひいたします。はい、吉井委員。

吉井克也(教育委員)

本当に大変なご苦勞であったなと思ひます。色々知恵を出されてご苦勞されて、有り難いことだと思っておりますが、やはり将来的には大変これは困難ではあるけれども、学校給食の食材に向けての安定供給の道というのを、関係者、農協であるとか諸々の団体等も本気で協議しながらひとつの道づくりをしていかにやいけんのじゃないかなと。これが難しいことは私も承知しております。一人ひとりの農家の皆さんの気持ちもあるし、大変困難だけれども、もうこれから

先も、来年も再来年もひょっとしたらこういう不安定な供給と言いますか、予測されると思います。あるには最終的には国、あるいは公のその辺への補助というようなことも含めなきゃいけないのかも知れないけど、やはり安定供給の道を探る以外ないだろうと思うんです。ちょっと本気になっていかなきゃいけない、そんな課題を凄く今感じました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。何かありますか。いいですか。はい。

高原祐二(学校保健給食課長)

今、吉井委員さんがおっしゃったことは、本当に学校給食の現場に携わる者として痛切に感じております。一例を挙げますと、例えば今年の初夏でしょうか、菊川エリアの豊東小学校にランチルーム、200人ぐらいが入る部屋があるんですけども、子供達と生産者のご夫人を呼びまして、教育委員会学校保健給食課も子供達と一緒に食事させていただいたところです。で、生産者のご夫人にお話を伺いましたところ、「後継者はいかがでしょうか」と、菊川地区は非常に学校給食に対する理解というか、生産者の本当に力添えが厚いところでございますので「いかがでしょうか」とお尋ねしたところ、「私の代はいいんですけど、この次がですね」ということで、後継者が育っていないということもあります。それと加工食品の話ですけれども、例えば今、現在下関市内に麺を製造する会社がなくなりました。で、麺の給食を作る場合は冷凍麺で対応するということにもなっております。ですから、やはりいわゆる野菜を生産する人達、加工する業者さん等、野菜の卸をされる業者さん等も後継者が育っていないというのは切実な問題かと思っておりますので、オール下関でこれを考えなければいけない時期かなというのは感じております。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。ほかにご意見ございますか。よろしいですか。はい。それではないようですので報告済みといたします。

#### 【報告事項】

平成28年度に指定管理者を再指定する施設について

波佐間清(教育長)

続きまして、「平成28年度指定管理者を再指定する施設について」、文化財保護課お願いいたします。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。資料14ページをお願いいたします。平成28年度に指定管理者を再指定する施設についてご報告いたします。

これは、重要文化財旧下関英国領事館の指定管理者を再指定するものでございます。旧下関英国領事館は、明治39年に竣工いたしました我が国に現存する最古の領事館建築物でございます。施設の概要は、本館が煉瓦造、2階建、延床面積329.96㎡で1階は168.61㎡、2階は161.35㎡でございます。また、附属屋は煉瓦造、平屋建で、延床面積は80.93㎡でございます。旧領事館建物は煉瓦造で耐震性について問題があったため、保存修理工事を平成20年から5年余りに渡って実施しまして、平成26年7月18日にリニューアルオープンいたしました。旧領事館のリニューアルオープンに際しましては、本市の観光地区である唐戸に立地するため、旧領事館のさらなる利用を促進しつつ、近隣の商店街や文教観光施設等に周遊していただくため、施設管理については指定管理者制度を導入したところです。現在の指定管理者は、ブランドゥでございますが、前回の指定管理者の選定に当たっては、公募により募集し、指定管理候補者選定委員会の選定を経て、指定しております。現指定管理者の指定期間は、平成26年7月18日から平成29年3月31日までとなっております。指定管理業務は、『施設の管理運営に関する業務』、『使用許可に関する業務』、『運営企画に関する業務』、『その他教育委員会が必要と認める業務』

でございます。次に、指定管理者を再指定する理由でございますが、先程ご説明いたしましたように、現在の指定管理者の指定期間が今年度末で終了するためでございます。

次に、再指定の概要でございますが、指定の形態や選定方法は、前回と同様に公募により募集し、先ほど議案第51号でご審議いただきました指定管理候補者選定委員会による選定を行う予定としております。指定期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間を予定してございまして、指定管理業務は現在と同様の内容にしたいと考えております。最後に今後のスケジュールでございますが、12月に市議会文教厚生委員会にこの報告をさせていただき、平成29年1月上旬に指定管理候補者選定委員会による選定を経て、1月下旬に教育委員会定例会に指定管理者指定議案を提出後、2月市議会にも同様の議案を提出させていただき、議会での可決後、指定管理者に指定通知を行って基本協定を結ぶ予定としております。以上、よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。ただいま、報告がございましたが何かございますでしょうか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

よろしいですか。特にないようでしたら報告済みといたします。

**【報告事項】**

重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

続いて、「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」、文化財保護課お願いいたします。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。よろしく申し上げます。資料16ページをお願いいたします。「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」のご報告でございます。

旧領事館本館1階部分の開館時間は、重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例第6条第1項の規定により、午前9時から午後5時までと定めておりますけれども、平成28年12月3日は旧領事館本館の1階部分につきまして、午後5時になっております閉館時間を午後8時に延長させていただきたいと考えております。この理由につきましては、「唐戸公園イルミネーション祭り」が開催されまして、多くの来館者が見込まれるためでございます。以上、ご報告いたします。よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま報告がございましたが、ご意見等がありましたらお願いいたします。

(ありません)

波佐間清(教育長)

よろしいですか。それでは、ないようですので報告済みといたします。

**【報告事項】**

第1回土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会について

波佐間清(教育長)

続きまして、「第1回土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会について」、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムお願いいたします。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムです。先月の教育委員会の定例会でご報告いたしましたように、第1回土井ヶ浜整備事業の基本構想検討委員会を11月24日、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで開催いたしましたので、その報告をいたします。委員15人のうち12人の出席のもと、共通展示収蔵施設の建築並びに土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの大規模改修に係る整備の方向性及び資料整理についてのご意見を聴取いたしました。

主な意見としましては、多くの人が楽しめ、身障者の方にもやさしい施設整備、あるいは国の史跡であります土井ヶ浜遺跡の保存立場の方から景観等立地環境をきちんと残すような整備、そして共通展示収蔵施設につきましては、収蔵・展示というだけではなくて、体験ができ、あるいは調査研究等、学芸員等の作業過程を可視化ができるような施設として整備してもらいたい。また、資料を保存するための温湿度、あるいは光とか、生物被害等々、それから防犯・防災といった環境整備がきちんとできるということが大方の意見でございました。また、入館者増を図るため国道191号線からの進入路の道路をぜひとも整備してもらいたいという意見も出ておりました。資料保存の施設を建設するにあたりまして、その各資料の基礎データとなる台帳、あるいはそのデータベース等につきましてはの早急な整備が必要であるというご意見をいただきました。以上で報告を終わります。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。今の報告について何かご意見がございますか。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育委員)

質問ですが、国道191号線からの進入経路の整備と言うのは、今ほどのような状態なのでしょうか。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

今は、191号線から人類学ミュージアムに入るときに、遠回りで直接道路からは入れません。ずっと迂回をしながら人類学ミュージアムに入って行かないといけない状況です。

波佐間清(教育長)

他に質問がございますか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

よろしいですか。はい。それではまた検討委員会の方、よろしくお願いをしたいと思います。

#### 【報告事項】

平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

波佐間清(教育長)

続いて、追加でございますが、「平成27年度の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」、生徒指導推進室、お願いします。

岡崎茂邦(教育指導監(生徒指導推進室長))

学校教育課生徒指導推進室です。下関市立各小・中学校の平成27年度の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の状況についてご報告いたします。

今年度10月27日の文部科学省の発表と山口県教育委員会の調査結果の公表がなされたので、併せて下関市の状況も報告をいたしたいと思います。この調査結果については、研修会等で各校の組織体制の強化を図ったり、予防的な生徒指導の推進を充実させるための数値でございませう。この結果を基にこれから推進室を中心に各校と連携をしながら、生徒指導を進めていきたいと、このように考えております。

それではまず、1枚めくっていただきまして、報告資料の1、暴力行為について簡単にご説明をさせていただきます。暴力行為については、小・中学校ともに増加をしておりますが、発生率は県や全国と比較して、小学校は低く、中学校はやや高めであります。発生状況を見ますと、小学校は一部の学校で、中学校は半数の学校で発生しております。各校においては特定の一部の生徒・児童による行為であります。そのような状況で大きな加害状況ではございませんが発生するというところでございませう。

続きまして2枚目の資料2をお開き下さい。不登校の状況でございませう。不登校の状況は、小学校が69人で若干減少しておりますが、出現率から考えると横ばい状態であり、中学校も24人減少しておりますが、出現率にしますと高い状況でございませう。県内の他市町との比較では、県内不登校児童の約27%、県内不登校生徒の20%が下関の子供達であることは、割合が減っているものの、まだまだ心配な状況でございませう。今年度は不登校1/2への挑戦という目標を掲げまして、不登校の解消や学校復帰に向けて重点的に取り組んでおります。来年度に向けてさらに対策事業を進めてまいりたいというふうを考えております。

続きまして、資料の3をお開き下さい。いじめについてでございませう。いじめについては、法にあるいじめの定義を確実に捉え、児童生徒間トラブルについてもいじめの定義に沿って、より適切な判断をするということで、いじめ認知件数は、小学校157件で昨年比32件増、中学校は109件で24件増となりました。小・中学校とも認知数は増加しましたが、認知率は全国や山口県に比べ低いということから、引き続きいじめの定義に沿ったきめ細やかな認知や対応を進めていきたいというふうを考えております。いじめを少し具体的に申しますと、いじめの態様は、全国や県と同じような状況で、冷やかしかからかい、脅しや文句ということが多くございませう。これについては、暴力を伴わないいじめがやはり全国、県と同じように下関でも発生しているということだす。発見のきっかけは、小・中とも本人の訴え、本人保護者の訴えが多いという傾向でございませう。今後はこの調査結果をさらに分析をしまして、校長会等で示し、これまでの対策を確認するなど、諸問題の解消に今後も一層努めてまいりたいと考えております。簡単ですが、以上で報告を終わります。

波佐間清(教育長)

はい。ただ今、報告がございましたが、ご意見等ございましたらお願いをいたします。はい、吉井委員さん。

吉井克也(教育委員)

下関市では以前から、こういういじめ等の予防と言いますか発見ということで、毎週1回それに関する調査をやるということを重ねてきております。今ももちろんやっておりますよね。なかなかそこに全て出することは難しいかもしれないけれども、毎週やるっていうのは実は大変な労力だけれども、本当に大事なことと思ひます。特にそれを強く思ひましたのが、例の横浜のいじめと言ひましようか恐喝と言ひましようか、最終的に金品が150万円ほど動いているという大変な事件が起こったわけでありませうけど、あの事件の報道を聞いた時に、下関ではこんなことは起こらないよなど。起こったにしても、もっともっと早く発見が出来たに違ひないっていう風に私自身は思っただすね。横浜市は、もちろん一生懸命やっておられたんだけれども、どこかにポカッと大きな落とし穴のようなものがあって、そこに落ちちゃったっていう感じだったのかな、最初の事件の報道があった時の受け止めは。でも、本当に下関もいつ何が起こるか分からないということは言えるわけで、毎週はいじめ調査も含めて、またより新たな気持ちで、あの事件を他山の石として、本当にやっぱりしっかり取り組んでいかなきゃいけないなと思ひました。なにか今の報告を聞いて感想のようなことで大変ご無礼ですけど、ぜひ調査をよろしくお願

いします。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。はい、藤井委員さん。

藤井悦子(教育委員)

11月11日にこの教育センターで少年サミットがありました。その時には、携帯・スマホの問題点について子供達が議論をしたのですが、「いじめ」に関しても市内の小・中学生の子供達が、一同に集まって考えさせる機会を設けることが重要だと思います。大人だけでなく子供も「いじめ」について一緒に考えることで連帯感を持って対応できるのではないかと思います。

波佐間清(教育長)

はい、生徒指導推進室。

岡崎茂邦(教育指導監(生徒指導推進室長))

今のご意見いただきまして、各学校では子供達だけで、例えば児童会、それから生徒会でこのいじめをなくそうという取り組みをしている学校もございます。今のご意見いただきまして、今後、サミット等で、全体でまた協議するという事も研究してまいりたいと思います。

波佐間清(教育長)

はい、よろしく願います他の委員さん、よろしゅうございますか。はい、林委員さん。

林俊作(教育長職務代理者)

資料を見せていただいて、不登校は大分減ったような感じもするんですけども、その他を見るとやっぱり例年並み、少し多くなっているか悪くなっているか、その時の様子次第というかそんな感じがしております。いじめの問題、これはずっと永久の課題というか、いつまで経っても多分なくなる。なくさなければいけないのしょうけれども、起きてしまう色々な問題がしてあると思います。私達も出来ることはやっていきたいと思しますので、是非親身になって対応して、これからもやっていきたいというのが正直な感想でございます。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。他にございますか。何かありますか。はい、どうぞ。

岡崎茂邦(教育指導監(生徒指導推進室長))

はい。今のご意見いただきまして、本当にいじめについては、一つは自分の発見のきっかけですが、全国は実は学校の発見の方が多い。下関市は、学校外、本人や親御さんの訴えからいじめが認知されるっていう事の方が多いんですけど、全国の割合は学校の発見の方が多いという、要はこの数値では資料としては出しておりませんが、そういう結果がございますので、その点についてはまだまだ下関市としては学校が認知をする割合を上げていくということは必要だろうというふうに思っておりますので、そのあたりを中心にまた取り組んでまいりたいというふうに思っております。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。

森永亮(教育部次長)

ちょっと補足的をよろしゅうございますか。

波佐間清(教育長)

はい、どうぞ。

森永亮(教育部次長)

この発見のきっかけの表ですけれども、アンケートを毎週やっているのに、そんな程度かとお思いかとも思う部分もおありじゃないかなど。決してアンケートは万能ではありませんし、あらゆる早期発見の手立てを講じていく必要があると思うんですけれど、例えば、アンケートにも書いたし本人からの訴えもあったというふうになった場合は、1つのいじめ事案について1つの発見手立てということで選択しておりますので、合計の数が小学校でいえば157になっていると思います。だから、いじめ発見が本当にこのアンケートがこの程度かというふうなものではなく、幾つかの訴えもした、アンケートにも書いた、友達が言ってきた、保護者が言ってきたというようないずれかの手立てを回答しているということ。それから学級担任が発見したっていうのと、学級担任以外の教職員が発見しているというので、小学校・中学校で、学級担任以外のパーセンテージがやっぱり違うと思うんですね。このあたり、多くの大人の目、学級担任だけが見るっていうんじゃないくて教科担任制等ですね、複数の大人の目で関わって、見守るということの大切さがこの数字からも見えるんじゃないかなというふうに思っております。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございます。それでは、この件について報告済みとしたいと思います。

#### 【その他】

波佐間清(教育長)

それでは日程3その他ですが、何かございますでしょうか。はい。下関商業高等学校。

富田智雄(下関商業高等学校事務長)

下関商業高等学校でございます。下関商業高等学校の企業家学習ということで、「下商チャレンジショップ2016」の開催についてご案内をいたします。お手元の両面印刷のチラシをご覧頂きたいと思っております。

チャレンジショップは3年生の必修科目であります課題研究の中で行われる販売実習でございます。模擬株式会社の設立から、資金調達、企業との仕入れ交渉、販売活動、株主総会、解散までの経営の諸活動を体験学習することにより、企業家精神の育成と株式会社の仕組みを学習し、将来の下関市の地域活性化を担う人材の育成を目指しております。今回は12月の17日土曜日、18日日曜日の午前10時から午後5時まで、シーモール下関専門店街の1階・2階に出店をいたします。3年生が35人7班に別れてチラシにございます商品の販売活動を行いますので、是非お立ち寄りを頂きたいと思っております。よろしく願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。下商チャレンジショップ12月17・18日、シーモールのコンコースピアモールであるということですので、行かれた折には是非覗いていただければというふうに思います。どうぞよろしく願いをいたします。そのほか。はい、人類学ミュージアム。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

人類学ミュージアムです。すみません、資料等まだないのですが、実は来年のお話です。来年の2月18日に今人類学ミュージアムの方で進めております、上海博物館等との日中国際共同研究の成果講演会を2月18日土曜日10時30分から、この3階の大研修室で開催しますので、是非、委員の皆様方はお忙しいとは思いますが、2月18日に行っていただければと思います。チラシ等出来次第、またご連絡、ご報告させて頂きたいと思っております。よろしく願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。2月18日ですね。

吉留徹(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

はい。午前10時開場で、講演の開始が10時30分から16時30分までです。

波佐間清(教育長)

この当研修センターであるようですので、時間のある方は空けておいていただければということとあります。そのほかに、連絡事項等がありますか。ないようですので、次回の日程につきまして、12月の教育委員会定例会は12月21日水曜日午後3時から、当教育センター3階の中研修室にて開催予定でございます。委員の皆さんよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ありがとうございます。

**【報告事項】**

平成29年度教育予算について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書きの規定により、非公表

**【閉会の宣告】**

波佐間清(教育長)

本日の議事全てが終了をいたします。それでは、これで定例会を終了したいと思います。お疲れでございます。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員